



CAT[®] 772

ダンプトラック

Caterpillarは長期にわたる成功を目標としており、CAT[®] 772ダンプトラックはお客様が何年にもわたって高い生産性と経済性を維持できるように開発されています。生産性に優れたトランスミッションコントロールを備えたCAT 772は、ヘビーデューティなオフロード用途に合わせて設計されており、乗用車並みの容易なシフト操作と快適性を通じて運搬サイクルを短縮できます。また、CAT 772は、CAT C18ディーゼルエンジンを搭載し、燃料節約機能を備えた設計になっているため、個別のニーズに応じてエンジン出力を調整できます。CAT 772は、CAT 986または988ホイールローダや374油圧ショベルと組み合わせることで理想的な積み杯数を実現できます。優れた燃料効率と性能を備えたCAT 772は、世代を超えた理想のダンプトラックです。

生産性の向上

- 走行速度が速くなったことにより、資材を迅速に運搬できます。
- 高トルクによって、より多くの力を地面に伝えます。
- より応答性の高いトラクションコントロールシステム(TCS)を使用することで、より高い生産性を実現することができます。
- スリップ時にTCSを迅速に作動させることによって、最大限のトラクションを発揮し、タイヤの摩耗を低減します。
- 強固で予測可能な性能によって、最小のトン当たりコストを達成できるよう支援します。

燃料効率が向上しました。

- アドバンストプロダクティビティエレクトロニックコントロールシステム(APECS、Advanced Productivity Electronic Control System)によって、エンジンとトランスミッションの通信を高いレベルで実現します。この通信により、機械はエンジンが発生するパワーとトルクをより有効に利用することができます。
- ボタン一つで作動できるアダプティブエコノミーモード機能を使用すると、生産性に影響を与えることなく燃料消費量を自動的に最適化できます。
- 自動ニュートラルアイドルで燃料効率が向上します。
- 速度制限機能を使って最適なエンジン回転数とギヤ選択で772ダンプトラックを動かすことで、燃料効率を向上させます。
- 統合されたオートアイドルストップ機能により、燃料を節約します。これは、トラックが駐車中で、あらかじめ設定された時間アイドルしているときに、エンジンが自動的にシャットダウンを開始する機能です。

安全性を考慮した設計

- アクセシビリティが向上しており、給油ポイントや日常メンテナンスポイントにグラウンドレベルで安全にアクセスできます。
- 最適な配置の通路と手すりによって、確実な3点支持での乗り降りが可能になります。
- 最新のブレーキ基準であるISO 3450:2011に適合する、優れたブレーキ性能を発揮します。
- グラウンドレベルでアクセス可能なエンジンシャットオフスイッチを作動させてエンジンの燃料供給をすべて停止して、機械を安全に停止できます。
- 転倒時運転者保護構造/落下物保護構造(ROPS/FOPS)基準に準拠した頑丈な4点支持のキャビン。
- 4点式シートベルトによりオペレータの安全性が向上。
- シートベルトインジケータは、シートベルトが締まっていない場合にオペレータに視覚と聴覚の両方で警告を発します。
- ロックアウト機能は、サービス技術者がセーフモードで機械のメンテナンス作業を行うのに役立ちます。
- プライマリシステムが故障すると、セカンダリステアリングが自動的に作動します。
- 過負荷速度制限はトラック積載質量システムと連動し、トラックが過負荷になると機械速度を自動的に低下させます。

快適な作業

- 設計を一新したキャブは、従来とは異なる新基準の視認性、快適性、生産性を実現します。
- 運転席の新しい配置によって、オペレータの操作性と快適性が向上します。
- 作業エリアとその周辺の大ビューの表示が改善されました。
- 新設計のキャブは収納スペースが拡大しているため、接続性が向上し、キャブ内を整頓できます。
- 自動キャブ温度コントロール。
- CATの次世代型デラックスシートによって、オペレータの快適性が向上します。



作業をやり遂げるためのテクノロジー

- 集中制御システムにより、事実に基づいた判断を適時に下すことができ、効率の最大化、生産性の向上、コストの削減につながります。
- 重要情報管理システム (VIMS™、Vital Information Management System) のソフトウェアを搭載したアドバイザディスプレイで重要な機械データを継続的に監視および収集することによって、機械の状態に関する有用な情報を得ることができます。米国EPA Tier 4 Final/EU Stage Vおよび米国EPA Tier 2相当の両方に適用可能です。
- トラック生産管理システム (TPMS、Truck Production Management System) は、材料の質を高い精度で測定し、2,400回の積込みサイクルを記憶して、運搬サイクルタイム、距離と日付、タイムスタンプを報告します。
- 外部ペイロードインジケータランプが積載をやめるタイミングを積込機に知らせるため、過積載のリスクを減らすことができます。
- Product Link™システムで各車両をワイヤレス接続し、車両の位置、稼働時間、燃料消費量、生産性、非稼働時間、診断コードを監視できます。
- VisionLink™は装置に無線接続できるため、事業経営に必要な重要情報にアクセスすることができます。
- CAT 772はMineStar™対応で、CAT Product Link EliteおよびVIMSを搭載しているため、機械管理、リモート監視機能、機械の稼働時間、コンポーネントの寿命を最適化しながら、修理費用と深刻な故障のリスクを低減できます。
- Advanced Healthは有線接続によって、過去のトレンド、ヒストグラム、イベントを表示する機能など、いくつかのメリットがあります。これにより、さまざまなアプリケーションでオフボード解析が可能になり、経時的なデータのモニタリングや分析がしやすくなります。
- メートルトンキロメートル毎時/トンマイル毎時 (TKPH/TMPH) タイヤ管理システムはTPMSと連動してタイヤ寿命を延ばします。

メンテナンスコストやその他のコストを削減

- 集中サービスポイント。
- エンジン取付けの2個のディーゼル酸化触媒キャニスタによって粒子状物質 (PM) をコントロールします。(Tier 4)
- CAT NOxリダクションシステム (NRS) テクノロジーは、吸気の一部を排気ガスと交換して、燃焼温度と窒素酸化物の発生をコントロールします。(Tier 4)
- 他のCAT装置との部品の共通化。
- VIMS通知によって故障が発生する前に問題を解決できます。
- トルクコンバータストール (自動ストール) によってすばやく作動温度に到達でき、高い性能と長寿命を実現します。
- すべてLEDライトであるため、寿命の延長、照度の向上、消費電力の低減、振動や水による損傷に対する耐性の向上につながります。

用途の汎用性

- 適切なボディオプション (デュアルスロープ、フラットフロア、採石) を選択することにより、材料と作業現場のニーズに対応できます。
- 運搬プロファイルに傾斜面が含まれる場合には、優れた材料保持力を発揮するオプションのデュアルスロープボディを使用できます。
- フラットフロアボディは、特にクラッシャへの投入作業時の材料の計量に最適です。
- 用途に対して最適なライナパッケージを選択することにより、ボディ寿命を最適化できます。大部分の用途に対応するスチールライナに加え、過酷な用途向けのゴム製ライナも用意しています。

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat®ディーラーにお問い合わせください。

標準 オプション		標準 オプション	
パワートレイン		運転席(続き)	
エアフィルタ(プレクリーナ付き) (1)	✓	視認パッケージ (WAVS)	✓
エアツアエアアフタクーラ (ATAAC)	✓	転倒時運転者保護構造 (ROPS) を持つキャブ (絶縁/騒音抑制型)	✓
自動コールドモードアイドルコントロール	✓	シート、フルエアサスペンション、4点式シートベルト (ショルダハーネス付き)	✓
自動ニュートラルアイドル	✓	ステアリングホイール - パッド保護、チルト機能、テレスコープ機能	✓
自動ストール	✓	スロットルロック	✓
ブレーキシステム、油圧作動式: リターダ自動制御 (ARC、Automatic Retarder Control) (オイル冷却式マルチディスクブレーキを使用)、ブレーキ解除モータ (けん引用)、キャリパディスク (フロント)、エクステンデッドライフブレーキ、オイル冷却式マルチディスク (リア)、パーキング、セカンダリ、サービス	✓	間欠ウインドシールドワイパとウォッシュャ	✓
ブレーキ摩耗インジケータ (Tier 4/Stage V)	✓	テクノロジー製品	
ブレーキ摩耗インジケータ (Tier 3およびTier 2)	✓	Advanced Health	✓
CAT® C18ディーゼルエンジン	✓	Product Link™	✓
CATエンジンブレーキ	✓	Product Link (プロダクトリンク) 対応	✓
電動始動	✓	トラクションコントロールシステム (TCS)	✓
オートアイドルリングストップ機能	✓	エコノミーモード (標準およびアダプティブ)	✓
2速発進	✓	その他	
トランスミッション - 7速自動パワーシフト (電子制御クラッチ圧力コントロールおよびアドバンストプロダクティビティエレクトロニックコントロールストラテジ (APECS、Advanced Productivity Electronic Control Strategy) 付き)、ボディ上げシフトインヒビタ、コントロールスロットルシフトインヒビタ、方向シフト管理、ダウンシフトインヒビタ、ニュートラル始動スイッチ、ニュートラル時惰性走行インヒビタ、リバースシフトインヒビタ、ダンプ中のリバースニュートラライザ、プログラム可能なトップギヤ選択	✓	給脂/自動給脂	✓
ターボチャージャ	✓	ボディ: フラットフロア、採石、デュアルスロープ	✓
電気装備		ボディヒータ/ダイバータボックス	✓
後進警報アラーム	✓	ボディ下降インジケータ	✓
メンテナンスフリーバッテリー (12 V 2個、190アンペア時)	✓	ボディサイドボード/ライナ	✓
照明システム: 後退灯、方向指示器/ハザード警告灯 (フロントおよびリアLED)、LEDヘッドライト (ディマラー付き)、オペレータ乗降用車内灯	✓	集中給脂	✓
運転席		クーラントヒータ	✓
アドバイザディスプレイ	✓	エーテル補助	✓
エアコン	✓	エクステンデッドライフクーラント (-35 °C/-30 °Fまで対応)	✓
診断コネクタポート (24 V)	✓	油圧式デマンドファン	✓
娯楽ラジオ対応: 5 Aコンバータ、スピーカ、アンテナ、ワイヤリングハーネス	✓	燃料ヒータ	✓
流体および燃料システムモニタリング (Tier 4のみ)	✓	燃料タンク (530 L/140 gal)	✓
流体および燃料システムモニタリング (Tier 3/2のみ)	✓	グラウンドレベルバッテリーディスコネク	✓
ゲージ/インジケータ: サービスインジケータ - 電子式、ブレーキオイル温度ゲージ、冷却水温度ゲージ、アワーメータ、タコメータ、エンジン過回転インジケータ、燃料レベル、スピードメータ (走行距離計付き)、トランスミッションギヤインジケータ	✓	地上からエンジンシャットダウンが可能	✓
ライト (ハロゲン)	✓	リザーバ (セパレート型): ブレーキ/コンバータ/ホイスト、ステアリング、トランスミッション/トルクコンバータ	✓
ミラー	✓	ロックイジェクタ	✓
ミラー (ヒータ付き)	✓	サスペンション、フロントおよびリア	✓
電源ソケット (12 V)	✓	スペアリム	✓
		車輪止め	✓
		盗難防止ロック	✓
		キャブエアフィルタ	✓
		キャブプレクリーナ	✓
		トラック生産管理システム	✓
		タイヤ管理システム	✓
		高速充填アダプタ - 燃料	✓
		ガード (オーバーヘッド)	✓

CAT® 772ダンプトラック

技術仕様

エンジン - 米国EPA Tier 4 Final/EU Stage V

エンジンモデル	CAT® C18	
定格エンジン回転数	1,700 rpm	
定格出力 (グロス) - SAE J1995:2014	451 kW	605 hp
定格出力 (ネット) - SAE J1349:2011	410 kW	550 hp
定格出力 (ネット) - ISO 9249:2002	410 kW	550 hp
エンジン出力 - ISO 14396:2002	446 kW	598 hp
定格トルク (ネット) - SAE J1349:2011	3,012 N·m	2,221 lbf·ft
シリンダ数	6	
内径	145 mm	5.7 in
行程	183 mm	7.2 in
総行程容積 (排気量)	18.1 L	1,105 in³

- これらの定格出力は、指定された規格の指定された条件下で、回転数が1,700 rpmのときの値です。
- 表示されている定格出力は、エンジンにエアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータが装備され、ファンが最低速度で回転している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
- 定格は、気温25 °C (77 °F)、気圧計が100 kPa (29.61 Hg) を示す、SAE J1995の標準的な空気状態におけるものです。出力は、16 °C (60 °F) におけるAPI比重が35、LHVが42,780 kJ/kg (18,390 BTU/lb) の燃料で、エンジンを30 °C (86 °F) で使用した場合のものです。
- 3,000 m (9,843 ft) までは、エンジンの出力レベルを下げる必要はありません。
- 米国EPA Tier 4 FinalおよびEU Stage Vの各排出ガス基準に適合

エンジン - 米国EPA Tier 3/EU Stage IIIAまたは米国EPA Tier 2/EU Stage II

エンジンモデル	CAT C18	
定格エンジン回転数	1,800 rpm	
定格出力 (グロス) - SAE J1995:2014	446 kW	598 hp
定格出力 (ネット) - SAE J1349:2011	415 kW	557 hp
定格出力 (ネット) - ISO 9249:2002	421 kW	565 hp
定格出力 (ネット) - 80/1269/EEC	421 kW	565 hp
エンジン出力 - ISO 14396:2002	435 kW	583 hp
定格トルク (ネット) - SAE J1349:2011	2,551 N·m	1,881 lbf·ft
シリンダ数	6	
内径	145 mm	5.7 in
行程	183 mm	7.2 in
総行程容積 (排気量)	18.1 L	1,105 in³

- これらの定格出力は、指定された規格の指定された条件下で、回転数が1,800 rpmのときの値です。
- 表示されている定格出力は、エンジンにエアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータが装備され、ファンが最低速度で回転している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
- 定格は、気温25 °C (77 °F)、気圧計が100 kPa (29.61 Hg) を示す、SAE J1995の標準的な空気状態におけるものです。出力は、16 °C (60 °F) におけるAPI比重が35、LHVが42,780 kJ/kg (18,390 BTU/lb) の燃料で、エンジンを30 °C (86 °F) で使用した場合のものです。
- 3,000 m (9,843 ft) までは、エンジンの出力レベルを下げる必要はありません。
- ガス排出量は、米国EPA Tier 3およびEU Stage IIIAまたは米国EPA Tier 2およびEU Stage IIの各基準に適合しています。

トランスミッション - Tier 4 Final/Stage V

前進1速	12.8 km/h	8.0 mph	前進5速	43.3 km/h	26.9 mph
前進2速	17.5 km/h	10.9 mph	前進6速	58.4 km/h	36.3 mph
前進3速	23.7 km/h	14.7 mph	前進7速	79.1 km/h	49.2 mph
前進4速	31.9 km/h	19.8 mph	後進	16.8 km/h	10.4 mph

- 最高走行速度は、21.00R33 (E4) 標準タイヤを使用した場合の値です。

トランスミッション - Tier 3および2相当

前進1速	12.9 km/h	7.9 mph	前進5速	43.6 km/h	26.8 mph
前進2速	17.7 km/h	10.8 mph	前進6速	58.7 km/h	36.1 mph
前進3速	24.0 km/h	14.7 mph	前進7速	79.7 km/h	49.0 mph
前進4速	32.2 km/h	19.8 mph	前進7速 (ベトナム)*	59.0 km/h	36.6 mph

- 最高走行速度は、21.00R33 (E4) 標準タイヤを使用した場合の値です。
- *ベトナム仕様の場合、最高走行速度は59 km/hに制限されます。

容量 - デュアルスロープ - フィルファクター100%

平積み	23.9 m³	31.3 yd³
山積み (SAE 2:1)	31.2 m³	40.8 yd³

容量 - フラットフロア - フィルファクター100%

平積み	23.9 m³	31.3 yd³
山積み (SAE 2:1)	31.3 m³	40.9 yd³

容量 - 採石ボディ - 100%フィルファクター

平積み	23.7 m³	31.0 yd³
山積み (SAE 2:1)	31.0 m³	40.6 yd³

サスペンション

無積載時から積載時までのシリンダストローク (フロント)	234 mm	9.2 in
無積載時から積載時までのシリンダストローク (リア)	149 mm	5.8 in
リアアクスルオシレーション	+/- 8.9°	

騒音 - Tier 4 Final/Stage V

オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	76 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	116 dB (A)

- オペレータ音圧レベルは、標準の車両仕様構成用ISO 6396:2008で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。
- 機械の音響出力レベルは、標準の車両仕様構成用ISO 6395:2008で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。

騒音 - Tier 3および2相当

オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	82 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	118 dB (A)

- オペレータ音圧レベルは、標準の車両仕様構成用ISO 6396:2008で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。
- 機械の音響出力レベルは、標準の車両仕様構成用ISO 6395:2008で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。

エアコンシステム

当機のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134aまたはR1234yfを使用しています。機械のラベルまたはガスの識別情報を参照してください。

- R134a (地球温暖化係数=1,430) を使用した場合、システムには1.9 kg (4.2 lb) の冷媒、つまり2.71メートルトン (2.99トン) のCO₂相当物が含まれます。
- R1234yf (地球温暖化係数=0.501) を使用した場合、システムには1.85kg (4.1 lb) の冷媒、つまり0.001メートルトン (0.001トン) のCO₂相当物が含まれます。

ステアリング

ステアリング基準	ISO 5010:2019	
ステア角	40.5°	
旋回半径 - フロント	17.6 m	57.7 ft
旋回半径 - クリアランス直径	20.3 m	66.6 ft

AJXQ3701-01 (2025年10月)

AJXQ3701-00の改訂版

ビルド番号: 07

(Global)

CAT製品、ディーラーサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Webサイト (www.cat.com) をご覧ください。記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Catディーラーにお問い合わせください。

© 2025 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ, VisionLink, VIMS, Product Link, MineStar, "Caterpillar Yellow", "Power Edge", およびCAT "Modern Hex" トレードドレス、ならびに本書にて使用されている法人および製品の識別情報は、いずれもCaterpillar社の商標であり、同社の承諾なく使用できません。

